

【地域公開講座を開催しました】

令和7年11月1日に東京福祉大学で伊勢崎市社会福祉法人連絡会と東京福祉大学・伊勢崎市が共催した地域公開講座「ふくしのちから」～社会福祉法人とともに広げる福祉の輪～を開催しました。

本講座は、学生が主体となり事業を運営しました。伊勢崎市社会福祉法人連絡会では、映像紹介の撮影協力、本会会長の講演、ディスカッションの登壇者として、講座に参加しました。

当日は、社会福祉法人連絡会会員や学校関係者、一般の方など約60名の方に受講していただき、社会福祉法人や社会福祉法人連絡会について知っていただく機会となりました。

（開会）

臂泰雄伊勢崎市長、坂井二郎東京福祉大学学長より挨拶がありました。

（第1部）ワークショップ

①「あなたも勇者のひとりに！ISESAKI QUESTへ出発だ！」～子ども・高齢者・障害... 3つのクエストに挑み、みんなでまちの未来を照らそう！～

社会福祉学を学ぶ学生が社会福祉法人連絡会の会員事業所の福祉従事者等の協力のもとに作成した社会福祉を市民の方々に知ってもらうための映像を紹介しました。

②「社会福祉法人連絡会について」

伊勢崎市社会福祉法人連絡会 島田幸治会長より講演がありました。

（第2部）ディスカッション（クロストーク）

「それぞれの立場で「ふくし」の今（課題）を考え、それぞれの立場で「ふくし」のこれからを語ろう」と題し、大学生・高校生・ボランティア・行政及び伊勢崎市社会福祉法人連絡会会員から高齢・障害・保育の各分野から登壇しました。

①「ふくし」に携わることとなった経緯・きっかけ

②「ふくし」に関わる中で「難しい」「問題である」と思うこと

③「ふくし」に関わる中で「よかった！」「うれしかった！」と感じる、感じた出来事や事柄

④より多くの人々に「ふくし」の素晴らしさや重要性を知ってもらうためにすべきこと

上記4項目について、7人の登壇者からそれぞれの立場で想いが語られました。



(臂泰雄伊勢崎市長 挨拶)



(坂井二郎東京福祉大学学長 挨拶)



(映像紹介)



(講演)



(ディスカッション)



(登壇者・スタッフ)